

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
平成30年度 第5回(8月) 理事会議事録

- ◇ 日 時： 平成30年8月9日(木) 午後19時00分～20時30分
- ◇ 会 場： 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 竹浦、高田、井戸田、杉山、田畑、酒井、増田、山西、清水、山田、久保田、梶、上田、岡本、谷川、井口、山本、荒木監事、柴監事
- ◇ 欠席者： 安保
- ◇ 議 長： 竹浦

【 討議内容 】

I. 行動報告(7月分)

- 7月3日 森ノ宮医療大学「IR」の講演会
竹浦
- 7月5日 地区責任者会議
田畑、谷川
- 7月7日 日臨技近畿支部幹事会
竹浦、井戸田、増田、清水
- 7月8日 日本臨床検査同学院二級臨床検査士(微生物)試験委員
山西
- 7月9日 細胞診定期講習会
岡本
- 7月12日 理事会
竹浦、高田、井戸田、杉山、田畑、酒井、増田、山西、清水、山田、梶、上田、井口、久保田、岡本、安保、山本、谷川、荒木、柴
- 7月13日 日臨技 内部打ち合わせ
竹浦
- 7月13日 第3回大臨技医学検査学会 第2回実行委員会
高田、杉山、増田、梶、安保、山本
- 7月13日 遺伝子診療学会
井戸田
- 7月14日 遺伝子診療学会
井戸田
- 7月14日 日臨技 執行理事会
竹浦
- 7月14日 第13回大臨技教育セミナー
高田、杉山、酒井、増田、田畑、清水、山西、山田、上田、梶、安保、谷川、荒木
- 7月17日 渉外部会
高田、田畑、清水、岡本、山本
- 7月18日 総務庶務・広報編集・会計部会

- 井戸田、杉山、酒井、山田、梶、井口、久保田、谷川
- 7月19日 第40回日本中毒学会総会
増田、久保田
- 7月20日 第40回日本中毒学会総会
増田
- 7月20日 組織部会
竹浦、高田、杉山、田畑、梶、上田、井口、谷川
- 7月20日 日臨技精度管理WG会議
山本
- 7月21日 日臨技精度管理WG会議
山本
- 7月21日 第40回日本中毒学会総会
増田、久保田
- 7月22日 日臨技平成30年度第3回認定救急検査技師指定講習会
竹浦、増田、久保田
- 7月24日 学術部会
高田、増田、安保、山本
- 7月25日 常務理事会
竹浦、高田、井戸田、杉山、田畑、酒井、増田
- 7月26日 第1回大阪府地域医療推進協議会
竹浦、高田、井戸田、杉山、田畑、酒井、増田、山西
- 7月27日 精度管理部会（標準化Pチームとの合同会議）
高田、井戸田、杉山、増田、山西
- 7月27日 日臨技 支部長会
竹浦
- 7月28日 日臨技 理事会・役割分担
竹浦
- 7月28日 緊急検査部門 定期講演会
久保田
- 7月29日 日臨技精度管理WG会議
山本
- 7月30日 日臨技精度管理WG会議
山本
- 7月30日 大阪市衛生検査所精度管理専門委員立入調査
高田
- 7月31日 第3回大臨技医学検査学会 第3回実行委員会
高田、井戸田、杉山、増田、梶、安保、岡本

II. 経過報告

1. *日臨技関係

特になし

*近畿支部 7月7日(土)に幹事会を開催した。

- 1) 平成29年度第6回及び平成30年度第1回日臨技理事会報告(竹浦支部長)
 - ・平成30年度以降の日本医学検査学会担当県:山口県→福島県→福岡県の予定
 - ・平成30・31年度日臨技役員の報告があった。
 - 近畿から竹浦・白波瀬・竹中・綿貫の4名(竹浦・白波瀬は執行理事)
- 2) 各府県活動報告(各府県支部幹事)
- 3) 日臨技近畿支部体制報告(白波瀬幹事)
 - ・白波瀬幹事より、竹中幹事を近畿支部学術部長として推薦があり満場一致で決定した。
- 4) 平成30年度支部研修会活動計画(白波瀬幹事)
 - ・平成30年度は12の研修会開催を予定
 - ・竹浦支部長より、会計締めのため都合上、3月の研修会は避けて欲しいとの要望があった。
- 5) 第58回近畿支部学会(奈良)進捗報告(藪内実行委員長)
 - ・演題申込状況、特別企画内容、協賛状況の報告があった。
 - 演題申込が少ないため、募集期間延長の決定と演題応募の要請があった。
 - (目標演題数は180~200、7/6現在の申込演題数は7題)
- 6) 第59回近畿支部学会(滋賀県)の進捗報告(岩井幹事)
 - ・決定事項として開催日(2019年10月26日(土)・27日(日))と会場(ピアザ淡海県民交流センター)の報告があった。
- 7) 検体採取講習会開催(竹浦支部長)
 - ・平成30年度の実施予定と担当県の確認を行った。
- 8) 自己学習支援システム(e-ラーニング)について(竹浦支部長)
 - ・あまり認知されていないので、各府県で積極的に活用して欲しいとの要望があった。
- 9) その他
 - ・第2回近畿支部幹事会は2月開催で、詳細については後日調整する。

2. 事務局

〈総務庶務部〉7月18日(水)に部会を開催した。

- ・行事予定表の掲載事項について協議した。

〈広報編集部〉7月18日(水)に部会を開催した。

- ・「大臨技会報(通巻第204号)」の発行の進捗について確認した。
- ・大臨技ニュース7月号を発行した。
- ・大臨技ホームページを随時更新した。

3. 財務局

〈会計部〉7月18日(水)に部会を開催した。

- ・6月度収支決算書を作成した。
- ・事務員7月給与を支給した。

4. 事業局

〈渉外部〉7月17日（火）に部会を開催した。

- ・マタニティーカーニバルの開催報告を行った。
- ・手話講演会の中止における今後の対応について討議を行った。
- ・合同フォーラムの進捗状況について討議を行った。
- ・献血推進活動の進捗状況について討議を行った。
- ・府民健康フォーラムの進捗状況について討議を行った。
- ・全国検査と健康展の進捗状況について討議を行った。
- ・HIV 予防啓発講演会の進捗状況について討議を行った。
- ・がん検診フォーラムの進捗状況について討議を行った。

〈組織部〉7月20日（金）に部会を開催した。

- ・第13回大臨技教育セミナーの開催について報告があった。

日時：7月14日（土）14：00～16：30、会場：クレオ南大阪

参加人数：297名（会員30名、非会員4名（3名+府民1名）、学生263名）

- ・事業日程の変更について報告があった。

検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会が、自動化学会と重複していたため、平成30年11月10日（土）に変更した。

- ・災害発生時連絡網について

9月6日（木）の地区責任者会で、竹浦会長・山本理事が参加して話し合う予定。

- ・チーム医療部門からの報告事項について

組織部として活動報告、会議の議事録、会計報告の3点について提出を求めていく。

〈精度管理部〉7月27日（金）に部会を開催した。

- ・H30年度大臨技標準化サーベイの目標値について討議した。
- ・「統計セミナー」開催の大臨技ニュース原稿内容について検討した。

〈学術部〉7月24日（火）に部会を開催した。

下記について検討した。

- ・行事参加者リストの変更について
- ・第3回大臨技医学検査学会実行委員会について
- ・後援・共催申請について
- ・検体採取に関する厚生労働省指定講習会の受講勧誘について
- ・近畿支部幹事会（7/7開催）について
- ・医療危機管理に関する講習会について
- ・旧コンテンツ「Q&A」の取り扱いについて
- ・第50回大臨技夏季献血推進活動（8/18京橋駅前広場での開催）について

III. 報告事項

1. 第3回大臨技医学検査学会（第2回・3回実行委員会）について（増田常務理事）
 - ・第2回・3回の実行委員会での進捗状況について報告があった。
 - 特別企画について検討を進めている。
2. 豪雨被害による被災会員に対するお見舞金申請手続きについて（井戸田副会長）

- ・上記について、日臨技より案内依頼があり大臨技 HP に掲載した。
- 3. 第 47 回医療功労賞候補者の推薦について（井戸田副会長）
 - ・上記について説明があった。推薦基準が厳しいことから今回は該当者無しとした。
- 4. 地域ニューリーダー育成研修会について（井戸田副会長）
 - ・上記研修会の受講者として山本理事を推薦し承認された。
- 5. 平成 30 年度日臨技北日本支部医学検査学会（第 7 回）におけるアンケート調査について（井戸田副会長）
 - ・上記について、アンケート回答への協力依頼があった。8 月 10 日（金）までに回答する。
- 6. 第 14 回府民健康フォーラムのチラシ案について（岡本理事）
 - ・上記チラシを大臨技ニュース 9 月号に同封する。
- 7. その他
 - 1) 各事業で使用する参加費等の領収証の発行者名は「公益社団法人 大阪府臨床検査技師会」とし、定型フォーマットを作成し各部門に配布する。定型フォーマットについては来月の理事会で検討する。（杉山副会長）
 - 2) 検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の受講促進について、大阪の修了率は 56.5%とやや増加しているが、経年的に講習会の回数が減っていく為、今後も受講促進に努める。（竹浦会長）
 - 3) 9 月 22 日（土）に開催される「会員交流会」の参加者が少ないので参加依頼があった。（谷川理事）
 - 4) 平成 31 年 3 月 9 日（土）に開催を予定している「がん検診フォーラム」について、会場の借用が難しいことから企画の内容（MBS 毎日放送本社内のスタジオで講演会をし、収録してラジオ番組で放送してもらう）を変更する事について検討し承認された。予算の範囲内で実施する。（岡本理事）
 - 5) 公益法人会計・事務に関するセミナーに北岡事務員が参加する。

IV. 議 題

1. 共催・後援依頼について（井戸田副会長）
 - ・下記の共催・後援申請依頼について全て承認された。
 - 1) 輸血学中級実技 オーツ・クリニカル・ダイアグノスティクス(株)より共催依頼
 - 2) 微生物検査部門 定期講習会 ビオメリユー・ジャパン(株)より共催依頼
 - 3) 微生物検査部門 定期講習会 ベックマン・コールター(株)より共催依頼
 - 4) FH 疾患啓発研修会 2018 一般社団法人日本動脈硬化学会より後援依頼
2. 大阪府医師会精度管理調査について（竹浦会長）
 - ・上記について大臨技との共同実施に向けて、大阪府医師会の茂松会長・前川担当理事に申入れをした。今後、継続して協議する。平成 30 年度大阪府医師会臨床検査精度管理調査の案内を大臨技ニュース 9 月号に掲載する。
3. 法人の名刺作成について（杉山副会長）
 - ・役員理事の名刺は法人として作成しているが、各部門委員の名刺作成についての取決めがなかったが、今後は所定のフォーマットを作成し、各部門で作成することとした。但し、部門長を通して依頼することとする。
4. 事務所への印刷依頼について（増田常務理事）

- ・大臨技事業以外の事業で、日臨技・日臨技近畿支部の事業、関連団体の資料作成についても事務所で印刷する事が承認された。但し、関連団体においては、条件として役員理事が学会員であること、コピー代は実費（白黒：2円、カラー：10円）を請求することとした。

5. 会場定数を越えた際の対応について（井戸田副会長）

- ・免疫化学部門の事業において、会場の収容人数を越えた場合の参加者への対応について問合せがあった。消防法の問題もあり、収容人数以上の参加者を受入れる事は公益法人として認めることは出来ないため、事業案内に「会場の収容人数を明記し、定員に達した時点で受付を終了する」旨を掲載することとした。先着順の記載はしない、資料の配布は参加費を徴収した参加者のみに配布する。

6. その他

- 1) 悪天候により延期となっていた手話講演会は、10月13日（土）に開催する。（清水理事）
- 2) 東邦薬品㈱より賛助会員に入会したいとの申し出があり、承認された。

以上

理事会議事録確認（署名・捺印）

梶 飛史 	山西八郎 	上田 一仁 
井口 健 	増田 詩織 	清水 隆之 
井戸田 篤 	竹浦 久司 	高田 厚照 
杉山 昌晃 	久保田 芽里 	田畑 泰弘 
酒井 正容 	谷川 崇 	岡本 秀雄 
山田 真規子 	荒木 年夫 	柴 芳浩 
山本 裕久 		